

# 大北蒲原中学校線の廃線について（報告）

## 1. 経緯

令和7年3月31日に、山梨交通株式会社から中部運輸局（国土交通省）へ、大北蒲原中学校線を廃止する旨の届出が提出されました。本届出は受領され、令和7年9月30日をもって廃線が決定しました。なお、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会がバス会社に対して代替運行の募集を行いました。が、応募はありませんでした。

## 2. 廃線となる路線の概要

路線名	大北蒲原中学校線
運行会社	山梨県甲府市飯田3丁目2番34号 山梨交通株式会社 代表取締役 雨宮 正英
運行態様	一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行）
廃線日	令和7年9月30日をもって廃線
ルート	始点：大北（富士市） ⇔ 蒲原病院 ⇔ 終点：蒲原中学校
便数	平日4往復8便 土日祝2往復4便
運行時間	平日6:48～19:10 土日祝9:20～15:30



### 3. 廃線の理由

大北蒲原中学校線は、利用者の低迷及び運行経費の高騰に伴い、以前から赤字運行を続けてきました。赤字に対して、静岡市と富士市が走行距離割合に応じて財政支援（赤字を補助金により補填）を行っていますが、令和5年10月運行分から富士市が補助制度を変更し補助額が減額となったため、山梨交通株式会社に負担が発生し、運行継続が困難となりました。

大北蒲原中学校線の収支実績（R5.10.1～R6.9.30 運行分）	
経常収益（運賃収入など）	374 万円
経常費用（人件費、ガソリン代、車両費など）	1,663 万円
経常損額（赤字額＝経常費用－経常収益）	1,289 万円
赤字額のうち、 <b>富士市走行分</b> （うち富士市の補助額：利用実態に応じて補助） （うち山梨交通負担額：富士市補助対象外分）	1,143 万円 （ 558 万円 ） （ 585 万円 ）
赤字額のうち、 <b>静岡市走行分</b> （うち静岡市の補助額：100%補助） （うち山梨交通負担額：静岡市補助対象外分）	146 万円 （ 146 万円 ） （ —— ）

※富士市補助減額の経緯…富士市では、旧富士川町との合併以降、「利用者数（乗車密度）に応じて補助率が変動する旧富士市ルール」と「赤字を100%補助する旧富士川町ルール」が混在していた。富士市は、不均衡解消のため、令和5年10月運行分から「利用者数（乗車密度）に応じて補助率が変動する旧富士市ルール」に富士市内全域で統一した。これまで、旧富士川町ルールで100%補助を受けてきた大北蒲原中学校線は、この制度変更に伴い、補助額が減額となった。

### 4. 路線の利用状況 x

廃線の影響を調査するため、富士市が令和7年4月12日から18日の1週間で、大北蒲原中学校線の乗降人数、乗降場所等の調査を行いました。その結果、静岡市内バス停の利用は少ないことが確認されました。少数ですが、静岡市民が蒲原病院への通院に利用している傾向が確認されました。

1週間の合計便数 24往復48便	1週間の合計 利用者数	利用傾向
<b>静岡市内</b> で乗って 静岡市内で降りた利用者数	1人	
<b>静岡市内</b> で乗って 富士市内で降りた利用者数	12人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒲原中学校周辺から蒲原病院へ通院している人が週7人いますが、バス利用は行きのみで、帰りは利用していません。</li> <li>・蒲原中学校周辺から富士川駅へアクセスしている人が週4人います。</li> </ul>
<b>富士市内</b> で乗って 静岡市内で降りた利用者数	8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松野周辺（富士市）から蒲原中学校周辺へ通勤している人が週6人いますが、バス利用は行きのみで、帰りは利用していません。</li> </ul>
<b>富士市内</b> で乗って 富士市内で降りた利用者数	172人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数が多いため、富士市が代替交通の導入を検討中。</li> </ul>
合計	193人	<b>静岡市内</b> バス停利用者数：13人（7%） <b>富士市内</b> バス停利用者数：180人（93%）

## 5. 静岡市役所の各課の意見

廃線に伴う市政等への影響について、静岡市役所内の各課の意見は以下のとおりです。

所管・観点	意見の内容
福祉	意見無し ※蒲原病院の所管を含む
教育	意見無し ※蒲原中学校、蒲原西・蒲原東小学校の所管を含む
子育て支援	こども園への通園手段が限られてしまう。 ※蒲原東部こども園の所管を含む
市民自治	意見無し
地域振興	現在バスを利用されている方は、高齢者等である。既存他路線のバス停までアクセスすることは身体的・時間的負担となることが想定される。地元住民の皆様と十分な話し合いを行い、意向を確認していただきたい。
観光	意見無し
都市計画	意見無し
財政	意見無し

## 6. 廃線への対応方針

### (1) 静岡市内の対応について

- ・大北蒲原中学校線の利用状況を見るに、静岡市内バス停の利用は少なく、廃線による住民生活への影響は小さいと考えます。
- ・静岡市が運行主体となる代替交通（静岡市自主運行バスなど）は、運行しない方針です。
- ・今後、沿線地域の公共交通としては、タクシー、もしくは近隣の別路線（由比蒲原病院線）をご利用いただくこととなります。
- ・山梨交通(株)と静岡市交通政策課は、利用者の皆様、沿線地域、周辺施設に対して、5月末から廃線の説明を行っています。

### (2) 富士市内の対応について（参考）

富士市から、大北蒲原中学校線の代替交通として富士市自主運行バスの導入を検討中と伺っています。